



例題 2

文字があるきまりにしたがって下のようになっています。このとき次の問いに答えなさい。

C A A C B D C C A A C B D C C A A C B D C C A A ...

- (1) 左から50番目の文字は何ですか。
- (2) Aの1個目は左から2番目です。ではAの20個目は左から何番目ですか。

答え (1) C (2) 66番目

[例題 2 の解説]

(1) CAACBDC | CAACBDC | CAACBDC | CAA ...

1周期は CAACBDC で1周期の個数は7個です。

50番目までに何周期あるか求めます。

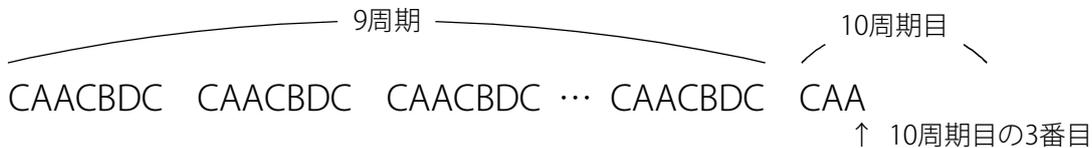
$$50 \div 7 = 7(\text{周期}) \cdots 1(\text{個})$$

よって50番目は7周期くり返されてさらに1個分なので、1周期の1個目、つまりCであることがわかります。



(2) 1周期にAは2個あります。

20個目のAが何周期目にあるかを求めます。20÷2=10 より 20個目のAは10周期目にあることがわかります。



20個目のAは上図より10周期目の3番目です。9周期で $7 \times 9 = 63(\text{個})$ なので 20個目のAは左から $63 + 3 = 66(\text{番目})$



例題3

数字があるきまりにしたがって下のようになっています。このとき次の問いに答えなさい。

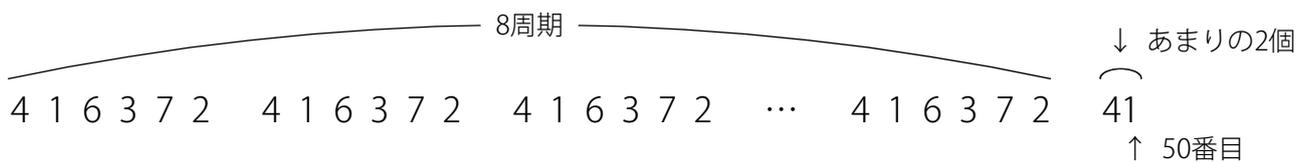
4 1 6 3 7 2 4 1 6 3 7 2 4 1 6 …

- (1) 左から50番目の数はいくつですか。
- (2) 左から50番目までの数をすべて足し合わせるといくつになりますか。

答え (1) 1 (2) 189

[例題3の解説]

- (1) 1周期は 4 1 6 3 7 2 で、1周期の個数は6個です。
50番目までに何周期あるか求めます。 $50 \div 6 = 8(\text{周期}) \cdots 2(\text{個})$
50番目は9周期目の2番目であることがわかります。
4 1 6 3 7 2 の2番目なので、左から50番目は1
- (2) 周期算では**1周期の個数**と**1周期の和**をよく使います。
(1周期の和) $= 4 + 1 + 6 + 3 + 7 + 2 = 23$
50番目までには8周期あつてさらに2個あります。



(8周期の和) $= 23 \times 8 = 184$
184にあまりの2個を足します。 $184 + 4 + 1 = 189$



例題4

下のようにあるきまりにしたがって数字を75個ならべました。このとき次の問いに答えなさい。

3 9 0 9 5 2 3 9 0 9 5 2 3 9 0 9 5 2 3 9 0 …

- (1) 9は全部で何個ありますか。
- (2) ならんでいる全部の数字の和を求めなさい。
- (3) ちょうど真ん中にある数はいくつですか。

答え (1) 25個 (2) 348 (3) 9

[例題4の解説]

- (1) 1周期は 3 9 0 9 5 2 です。

(1周期の個数)=6(個)

75個の中に何周期あるか求めます。

$$75 \div 6 = 12(\text{周期}) \cdots 3(\text{個})$$

1周期の中に9は2個なので12周期の中に9は $2 \times 12 = 24(\text{個})$

さらにあまりの3個は 3 9 0 で9が1個あるので、全部で $24 + 1 = 25(\text{個})$

- (2) (1周期の和)= $3 + 9 + 0 + 9 + 5 + 2 = 28$

$$75 \div 6 = 12(\text{周期}) \cdots 3(\text{個}) \text{ より } 28 \times 12 + 3 + 9 + 0 = 348$$

- (3) 例えば

1 5 7 2 4 のように数字が5個ならんでいるとき、真ん中の数は左から3番目の7です。

2 0 8 1 6 5 3 のように数字が7個ならんでいるとき、真ん中の数は左から4番目の1です。

つまり○個ならんでいるとき、真ん中は $(\text{○} + 1) \div 2$ 番目です。

75個のとき、 $(75 + 1) \div 2 = 38$ より 真ん中は左から38番目です。

1周期は6個なので $38 \div 6 = 6(\text{周期}) \cdots 2(\text{個})$ よってあまりの2個は 3 9 なので真ん中にある数は9です。



例題 5

あるきまりにしたがって下のように数字をならべていきます。3が25回あらわれたところでならべるのをやめます。

4 7 3 3 6 3 4 3 4 7 3 3 6 3 4 3 4 7 3 3 …

ならんでいる全部の数の和を求めなさい。

答え 212

[例題 5 の解説]

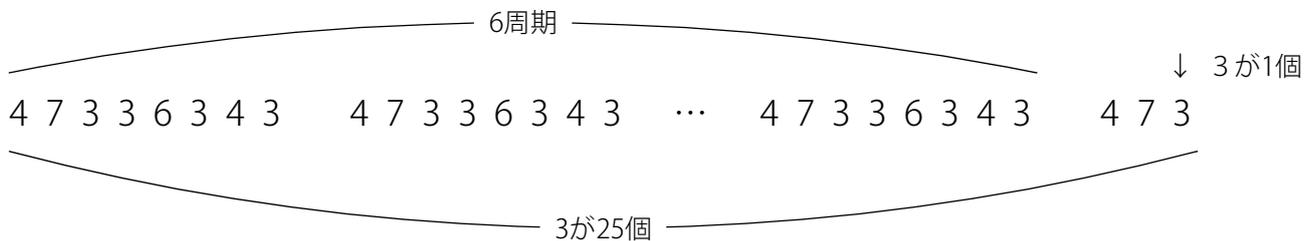
1周期は 4 7 3 3 6 3 4 3 です。

(1周期の個数)=8個

(1周期の和)= $4+7+3+3+6+3+4+3=33$

1周期の中に3は4個あります。3が全部で25個あらわれるまでならべるので $25 \div 4 = 6(\text{周期}) \cdots 1(\text{個})$

あまりの「1個」というのは3が1個ということです。

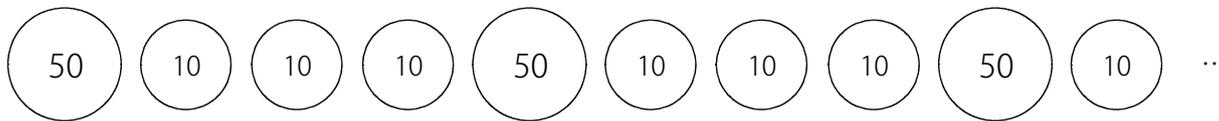


上図より (1周期の和)=33 なので 6周期と 4 7 3 の和は $33 \times 6 + 4 + 7 + 3 = 212$



例題6

50円硬貨と10円硬貨がそれぞれ40枚ずつあります。これらの硬貨をあるきまりにしたがって下のようにならべていき10円硬貨がなくなったところでならべるのをやめました。



ならべた硬貨の合計金額を求めなさい。

答え 1100円

[例題6の解説]

1周期は 50, 10, 10, 10 です。

(1周期の個数)=4枚

(1周期の和)= $50+10+10+10=80$ (円)

10円硬貨 (10円玉) は1周期に3枚で全部で40枚なので $40 \div 3 = 13$ (周期) $\cdots 1$ (枚) となります。



よって上図より合計金額は $80 \times 13 + 50 + 10 = 1100$ (円)



ポイントまとめ

- くり返し（しゅうき周期）を見つけて1周期の個数に着目します。
- 周期算では1周期の個数と1周期の和をよく使います。
- \bigcirc 個ならんでいるとき、真ん中は $(\bigcirc+1)\div 2$ 番目です。